

「To a higher stage with our smiles」本校の今年度のテーマです。本校の生徒は、六ヶ所高校での日々の学校生活の中で確実に成長し、中学時代とは比べものにならないほど高いステージに立っています。しかし、日常の中ではその実感が薄く、自己の成長に気が付かないこともあるのではないのでしょうか。自らの成長に気が付き、三年後に迎える創立五十周年に向けて、自分自身と六ヶ所高校を、今以上に高いステージへと導いてほしい。そのように強く願っています。保護者の皆様におかれましても、我々教職員とともに「チーム六高」の一員として、お子さまのさらなる成長のために、また今以上に高いステージに立てるように、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



校長 蛭名 良一

保護者の皆様、日頃より六ヶ所高校の教育活動およびPTA活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本校では、校長先生が日頃から大切にされている「チーム六高」という言葉のもと、生徒・教職員・保護者・地域が一体となって、学校づくりを進めています。先日開催された体育祭では、生徒たちが全力で競技に取り組む姿、仲間とともに汗を流す姿が印象的でした。特に、全校で披露された「よさこい」は、練習の成果が存分に発揮され、観る者すべてに感動を与える素晴らしい演舞でした。生徒たちの真剣なまなざしと、仲間と心をひとつにする姿に、私たち大人も多くのことを学ばせていただきました。また、こうした行事の成功には、校長先生をはじめとする教職員の皆様のご尽力に加え、地域企業の皆様のご支援、そして地域の方々の温かなご協力が欠かせません。生徒たちが安心して学び、のびのびと活動できる環境は、地域全体の力によって支えられていることを、改めて実感いたしました。

PTAとしても、「できる人が、できる時に、できることを」という柔軟で温かな関わりを大切にしながら、保護者・学校・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えたいと考えています。生徒の皆さんには、短いながらも大切な六高での時間を、悔いの残らない様しっかりと目標を持ち、一日一日を大切に過ごしていただきたいと思います。今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



PTA会長 吉田 譲

ごあいさつ



＜発行＞
令和7年9月1日
青森県立
六ヶ所高等学校PTA
広報委員会

運動部 部長からのメッセージ

アーチェリー部
高田 煌士郎

アーチェリーを通じて、集中力と継続の大切さを学びました。一射一射に心を込め、失敗を恐れず挑戦し続ける姿勢が養われました。努力はすぐに結果が出ないこともありますが、あきらめず続けることで必ず成長できます。後輩の皆さんも自分を信じて、一歩ずつ前に進んで下さい。そうすれば、努力は必ず形になり、いつか結果として表れると思います。

硬式野球部
木村 泰嘉

私は高校から野球を始めました。最初の頃は最後まで続けられるのが不安だったし、最後までベンチで過ごす覚悟もありました。三年生になりチーム全体の人数が減ったことで、必然的に自分の出場機会が増えました。そこで、その環境に甘えず、ことごとく自分に言い訳をせずに取り組み、自分自身のレベルアップや結果を残すことに努めました。最後の大会では勝つことができずチーム的にはとても悔しい結果になってしまいましたが、後輩たちはめげずに頑張ってください。

バレーボール部
木村 あおい

この三年間、バレーを通じて泣いたり、笑ったり、ぶつかり合いながら成長してきました。部長になってからは、バレーだけでなく、チームをまとめる難しさを感じました。それでもみんなが支えてくれたおかげでチームの絆が深まりました。このメンバーでよかったと心から思うことができました。厳しい練習も、試合で勝った喜びも、チームメイトと支え合った日々も、本当にかげがえのないものでした。毎日の練習や応援してくれた保護者の皆さんや先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

陸上競技部
橋本 一翔

私はこの三年間、陸上競技部の活動を通して努力の大切さを学びました。また部長として、皆をまとめたり、協力し合ったり、コミュニケーションを取ることを心がけました。私は、100m走を専門に活動してきました。途中で逃げ出したくなることもありましたが、三年生になったときに外部コーチの工藤さんが来て、基礎からしっかりと教えてもらいました。その結果、大会で良いタイムを出すことができました。とても楽しく活動することができました。

サッカー部
附田 賢心

三年間のサッカー部の活動を通して、仲間と目標を共有し、困難を乗り越えていく中で、信頼関係をより深めることができました。また技術だけでなく、部長として、責任感をもって行動することの大切さや、リーダーシップ、協調性の大切さも学びました。

卓球部
赤石 響

私が三年間の卓球部の活動を通して学んだことは、チームで団結することの大切さです。部長というチームをまとめる大きな役割を任せられたものの、最初はうまくいかず意見がぶつかったり、喧嘩になることも多くありました。それでも私は諦めずにチームを引っ張って来ました。高校総体ではベスト16という結果でしたが、チーム全員が頑張ったからこそ、ここまで来ることができたと思います。

陸上競技部
橋本 一翔

私はこの三年間、陸上競技部の活動を通して努力の大切さを学びました。また部長として、皆をまとめたり、協力し合ったり、コミュニケーションを取ることを心がけました。私は、100m走を専門に活動してきました。途中で逃げ出したくなることもありましたが、三年生になったときに外部コーチの工藤さんが来て、基礎からしっかりと教えてもらいました。その結果、大会で良いタイムを出すことができました。とても楽しく活動することができました。

三年間のサッカー部の活動を通して、仲間と目標を共有し、困難を乗り越えていく中で、信頼関係をより深めることができました。また技術だけでなく、部長として、責任感をもって行動することの大切さや、リーダーシップ、協調性の大切さも学びました。

私が三年間の卓球部の活動を通して学んだことは、チームで団結することの大切さです。部長というチームをまとめる大きな役割を任せられたものの、最初はうまくいかず意見がぶつかったり、喧嘩になることも多くありました。それでも私は諦めずにチームを引っ張って来ました。高校総体ではベスト16という結果でしたが、チーム全員が頑張ったからこそ、ここまで来ることができたと思います。

私はこの三年間、陸上競技部の活動を通して努力の大切さを学びました。また部長として、皆をまとめたり、協力し合ったり、コミュニケーションを取ることを心がけました。私は、100m走を専門に活動してきました。途中で逃げ出したくなることもありましたが、三年生になったときに外部コーチの工藤さんが来て、基礎からしっかりと教えてもらいました。その結果、大会で良いタイムを出すことができました。とても楽しく活動することができました。



東北大会出場!~たくさんの応援ありがとうございました

最後の大会である東北大会は手が震えるほど緊張しましたが、これまでの練習を信じて一射一射集中し、力を出し切ることができました。十位という結果でしたが、最後にふさわしい大会となりました。

先輩の皆さんは、日々の練習を大切にし、自分を信じて試合に臨んでほしいです。そして、楽しむ気持ちを忘れずに頑張ってください。



アーチエリート部
高田 煌士郎



陸上競技部
上野 来音

僕は、今年学校生活二回目の東北大会に出場することができました。東北大会では納得のいく跳躍をするという目標をほぼ達成することができたので、更なる課題をしっかりと達成できるよう頑張りたいと思います。

今年は成長の年ということで、新人戦までにフォームや助走などたくさんの課題を解決していき、来年度は「東北大会で記録を残す」という大きな目標を掲げ、満足いく大会にしたいです。来年度まで、自分ができることをしっかりとしていきたいと思っています。



体育祭

制服が新しくなります!

- 令和8年度入学生から制服が一新されます。
- ・汎用ラインナップを採用し、男女共用アイテムを多くすることにより、供給持続性が高く、価格が安くなる。
 - ・ストレッチが効く化繊多めの生地により、家庭での洗濯も可能となる。
 - ・性別にかかわらずどのアイテムを選択・着用しても良い。
 - ・創立50周年となる令和10年度には、全生徒が新制服で統一される。

以上のポイントを考慮し、全校生徒・教職員で検討し、新制服(冬服)が写真のように決定しました。

夏服については、実際に暑い季節を過ごす中で、半袖シャツやポロシャツなどあらゆる選択肢を全校で検討し、9月末頃を目処に決定したいと考えています。



~学校行事など~



村内企業研究会



プランター整備



芸術教室

六ヶ所村エネルギー関連施設見学



授業風景